

電力使用量を約 28%削減^{※1}
作業時間を約 5.5 時間/日短縮^{※2}

セブン&アイ本社入居ビル内「セブン-イレブン千代田二番町店」 『ひとと環境にやさしい店舗』として開店

「環境負荷の低減」「働きやすさの向上」「快適な店内環境づくり」をテーマに新技術を採用

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：古屋 一樹）は、12月7日（木）午前7時より、改装のために休業していた当社が入居する「二番町ガーデンビル」内の「セブン-イレブン千代田二番町店」を、次世代にあるべき店舗の礎となる新しい技術を結集した店舗として再オープンいたします。

本店舗は、国内外の様々な分野を代表する企業様より、「環境負荷の低減」「働きやすさの向上」「快適な店内環境づくり」をテーマとした技術や設備をご提案いただき、それらを結集した『ひとと環境にやさしい店舗』として開店いたします。

今回の取り組みによって、店舗全体の外部調達電力を約 28%削減^{※1}することが可能となり、対象設備に関連する作業時間を1日あたり約 5.5時間^{※2}削減することができるようになりました。

全体で38社からご提案をいただいた58種の技術による設備を採用しており、本店舗での試用、検証をきっかけとして、可能なものから全国約19,900店舗への拡大を検討してまいります。

セブン-イレブンでは、環境への負荷を低減できる設備の導入や、従業員が働きやすい環境の整備、「近くて便利」なお店づくりを通じ、広く社会的課題への対応を推し進めてまいります。

※1：標準店舗に設置した場合の換算、2013年度対比

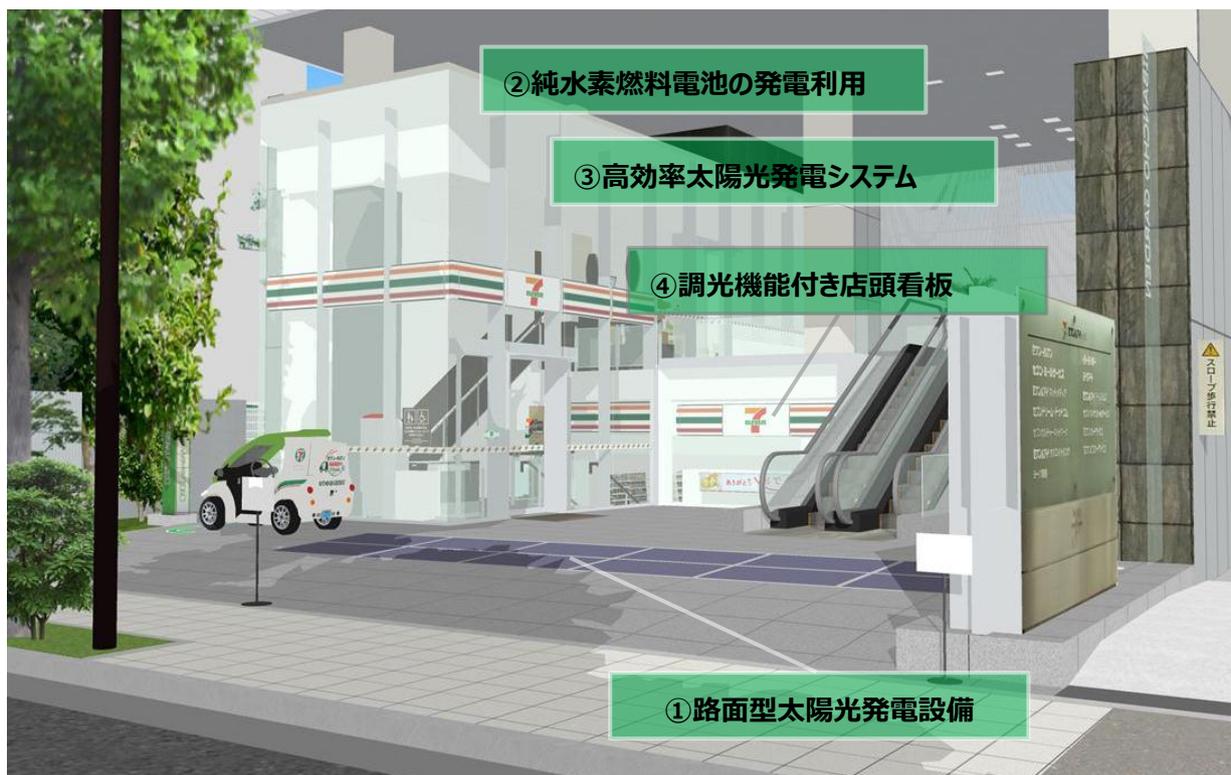
※2：平均的な店舗環境において、従来のあるべき手順で作業を実施した場合と比較した計算値

概要

- ◆ 店舗名称：セブン-イレブン千代田二番町店
- ◆ 所在地：東京都千代田区二番町8番地8
- ◆ 開店日時：2017年12月7日（木）午前7時

	<旧>		<新>
売場面積	201.3㎡	>	213.3㎡ + 12㎡
アイテム数	3,000	>	3,300 + 300アイテム

採用技術の概要（抜粋）



環境負荷の低減

アジア初導入

①路面型太陽光発電設備

提供：コラス社（ブイグループ）

- ◆床面に高透過性・高耐久性のあるコーティングを施した太陽光パネルを設置。
- ◆フランスの大手建設「ブイ」グループの「コラス社」による路面太陽光発電設備『WATTWAY by Colas』を採用。アジアにおける採用は初。
- ◆今後の拡大については検討中。

★ 100㎡敷設時発電量 約 **10,000kWh/年**
(2013年標準店舗使用電力の約7.2%相当)



環境負荷の低減

国内CVS初導入

②純水素燃料電池の発電利用

提供：岩谷産業株式会社

- ◆水素ガス容器から配管を経由し、水素を燃料電池に供給、発電するシステム。
- ◆水素ポンプ1本あたり約8時間の発電が可能。

★ 24時間稼働時発電量 約 **12,264kWh/年**
(2013年標準店舗使用電力の約8.8%相当)



環境負荷の低減

③高効率太陽光発電システム

提供：三井物産プラントシステム株式会社

- ◆現行でセブン-イレブン店舗に導入している標準パネルと比べ、発電能力が約102%と高効率な太陽光発電パネルを採用。

★ 発電量約 **11,424kWh/年**
(2013年標準店舗使用電力量の約8.2%相当)



環境負荷の低減

④自動調光機能付き店頭看板

提供：三協立山株式会社
タヤマアドバンス社

- ◆店頭看板の照明に、タイマー管理の自動調光機能を付加。
- ◆段階的な調光により、使用電力量を削減。

★ 使用電力量約 **286kWh/年削減**
(2013年標準店舗使用電力量の約0.2%相当)



【店舗内観】



環境負荷の低減

働きやすさの向上

⑤ CO₂ 冷媒を使用した冷凍・冷蔵設備

提供：サンデン・リテールシステム株式会社
中野冷機株式会社
パナソニック株式会社

- ◆ 冷凍・冷蔵の販売設備すべてに CO₂ 冷媒を使用し、環境への負荷を低減。
- ◆ 従来固定式であった冷凍・冷蔵ケースの陳列棚をスライド式にすることで、作業効率を改善。

★ 作業時間 約 54 分 削減見込み

(作業項目：商品補充、清掃)



働きやすさの向上

⑥ スライド式の棚板／ブラケットの採用

提供：コクヨ株式会社
株式会社岡村製作所

- ◆ 従来固定式であった商品陳列用の棚板を、全てスライド式に変更。
- ◆ 商品補充の作業時間が減少し、作業効率が向上。
- ◆ 既存の陳列棚に使用することでスライド式にできるブラケットも採用。

★ 作業時間 約 47 分 削減見込み

(作業項目：商品補充、清掃)



働きやすさの向上

買い物環境改善

⑦「ナノイー-X」による店内空気の清浄 (空調機・空気清浄機)

提供：パナソニック産機システムズ株式会社

- ◆パナソニック(株)の独自技術「ナノイー-X」を使用した空調機、空気清浄機を採用。
- ◆12種類の花粉の無力化や、PM2.5、アレル物質などを抑制。また、脱臭機能も付加。



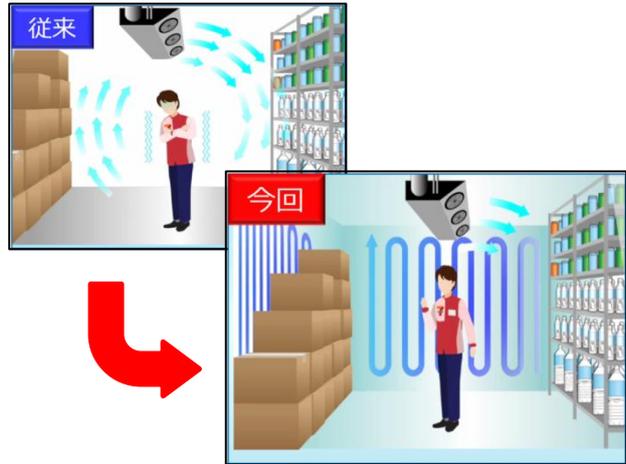
働きやすさの向上

CVS 初導入

⑧新型ウォークイン冷蔵庫

提供：サンデン・リテールシステム株式会社

- ◆従来は冷却風を循環させ、陳列棚・保管用棚の商品を冷却していた。今回は、陳列棚と保管用棚を分け、冷風を適宜使用し、壁面と棚で商品を冷却する方式に変更。
- ◆作業時に従業員に冷風が直に当たらないので、負荷が減少。



働きやすさの向上

快適な店内環境

⑨快適空間トイレ

提供：TOTO 株式会社、アイカ工業株式会社
パナソニック株式会社エコソリューションズ社
株式会社バイタル

- ◆プレミスト機能・自動便器洗浄機能を装備した便器の採用 (TOTO 社)。
- ◆防臭・抗菌作用を有する床の採用 (TOTO 社) と、消臭・抗菌作用を有する壁・天井材の採用 (アイカ工業社)。
- ◆脱臭機能付き空気清浄機 (パナソニック社) 設置。
- ◆節水型泡沫自動水栓の採用 (バイタル社)。

「ユニバーサルデザイン」を
スタンダードに



環境負荷低減

⑩バイオ PE を使用したステッカー

提供：凸版印刷株式会社

- ◆サトウキビ由来のバイオエタノールから作られたポリエチレンステッカーを採用。
- ◆化石燃料由来から植物性由来へ置き換えることでCO2 排出量を削減。



▲店頭ステッカー 一例

【カウンター周辺】



働きやすさの向上

⑪レジ袋簡易取り出し／袋開口機能

提供：ココロ株式会社

- ◆レジ袋を取り出す作業性を改善。
- ◆従来、屈んで袋を取り出す構造となっており、従業員の作業時に負荷がかかっていたが、立ったまま袋を取り出すことができ、袋が開きやすくなることで働きやすさの改善につながる。

★ 作業時間 約 55 分 削減見込み

(作業項目：レジ袋詰め)



働きやすさの向上

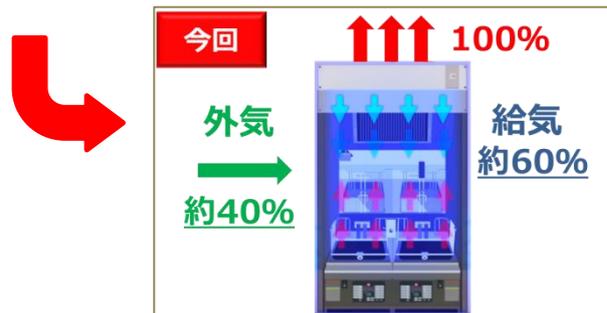
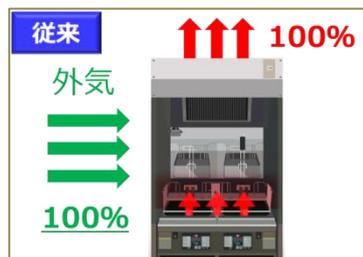
快適な店内環境

⑫新型フライヤーフードユニットによる
給排気システム

提供：菱熱工業株式会社

- ◆フライヤー設備に給気機能を付加し、店内の気圧を正圧化（外気圧との差を少なくする）することで、入口等からの外気の流入を低減。空調効率向上、埃・花粉等の流入を抑制。

※店内のみ（バックルームを除く場合）



以上